

## 事業活動と環境負荷の相関

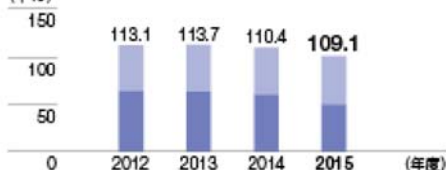
富士電機は、事業活動全体を通して、資源・エネルギーの効率的利用や廃棄物削減に努めています。また、製品やサービスのライフサイクル全体にわたる環境配慮の取り組みを積極的に進めています。

### 国内における事業活動と環境負荷の相関

## INPUT

### 1次エネルギーとしての熱量を原油換算

(千t)

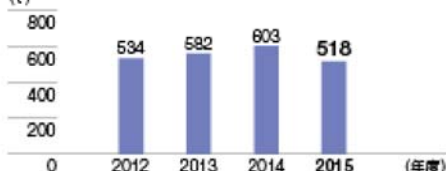


■ エネルギー原油換算合計(電力)

■ エネルギー原油換算合計(燃料)

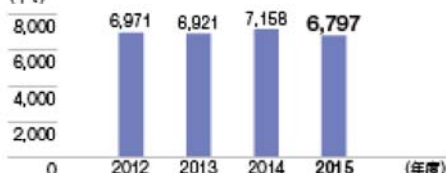
### PRTR法<sup>\*1</sup>対象物質取扱量

(t)



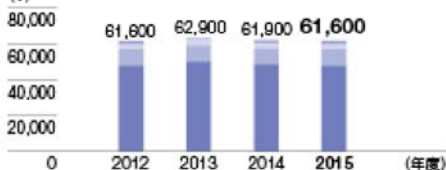
### 水使用量

(千t)



### 主要素材使用量

(t)



■ 鉄 ■ 非鉄 ■ プラスチック ■ ゴム、ほか

\*1 化学物質排出把握管理促進法

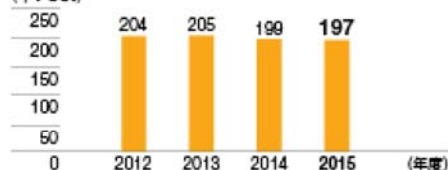
\*2 排水量は河川など自然界に排水した量

\*3 廃棄物最終処分量とリサイクル量は、廃棄物発生量の内数

## OUTPUT

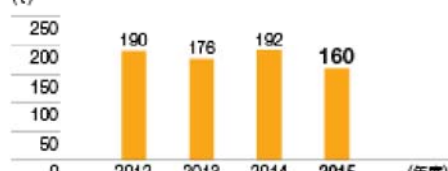
### CO<sub>2</sub>排出量

(千t-CO<sub>2</sub>)



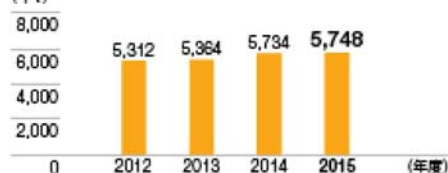
### PRTR法対象物質排出量

(t)



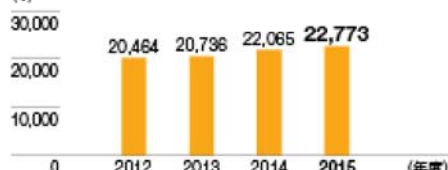
### 排水量<sup>\*2</sup>

(千t)



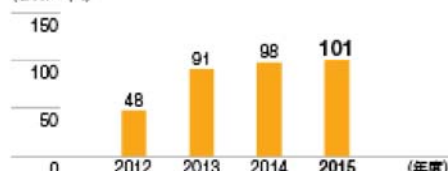
### 廃棄物発生量

(t)



### CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量

(GWP-千t)



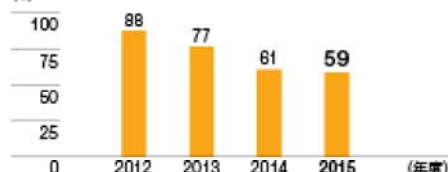
### その他の環境負荷物質排出量

(t)

NOx	3.5	COD	2.8
SOx	0.022	窒素	2.8
BOD	2.4	リン	0.4

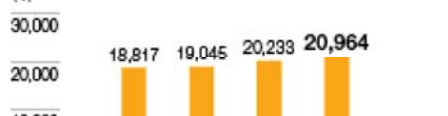
### 廃棄物最終処分量<sup>\*3</sup>

(t)



### リサイクル量<sup>\*3</sup>

(t)





© Fuji Electric Co., Ltd. All rights reserved.